

男女がともに 輝くために

美浦村男女共同参画
～共に輝くみほの会～

問合せ 企画財政課
☎029-885-0340(内)209

美浦の女性活動を未来に 繋ぐ会「結」の活動から

篠田 京子

7月12日、美浦村中央公民館にて、「戦後80年美浦平和のつどい」(主催・美浦平和のつどい実行委員会)が開催されました。

そこで上映された映画『荒野に希望の灯をともし』は、医師・中村哲さんの35年にわたるアフガニスタン・パキスタンでの活動を追ったドキュメンタリーです。映画によると、アフガニスタンでは9割が自給自足。温暖化による干ばつのため農作業を捨てて難民へ、また、生活のためにタリバン傭兵になる人々も。犠牲になるのは幼い子供と高齢者…。「百の診療所より一本の

用水路を」と、医師でありながら、中村先生は干ばつに苦しむ人々のために用水路建設に挑みました。

『自分が今いる場所で、自分にできることを一生懸命やりましょう』…中村先生の好きな言葉「一隅を照らす」には、そんなメッセージが込められています。

今回、この映画上映の企画に、準備段階から参加させていただきました。

主催である、実行委員会の「美浦の女性活動を未来に繋ぐ会「結」(結の会)」では、岡野代表を中心に美浦のボランティアを支えるメンバーの皆さんが集まりました。メンバーの長年積み重ねられた活動経験を活かし、適材適所に役割分担され、細やかな目標を次々達成。和気あいあいとした雰囲気の中でも、企画から準備、開催まで、メンバーは責任を果たし、当日、大成功で終えることが出来ました。メンバーの皆さんの気遣いや笑顔に触れたこの期間の思い出は宝物。感謝の気持ちでいっぱいです。

女性同士が自信を持って連携し、行政や男性を巻き込みながら未来を形作る力として団結する、とても素晴らしい企画でした。

女性活躍の推進に向けた政府の今年の重点方針「女性版骨太の方針2025」(女性活躍・男女共同参画の重点方針)が決定しました。

《5つの重点事項》

- ①女性に選ばれ、女性が活躍できる地域づくり
- ②全ての人が希望に応じて働くことができる環境づくり
- ③あらゆる分野の意思決定層における女性の参画拡大
- ④個人の尊厳が守られ、安心・安全が確保される社会の実現
- ⑤女性活躍・男女共同参画の取組の一層の加速化

村においてこれらの取組を進めるためには、村の課題に合わせた実証的なアプローチ(パイロット事業やフィードバック収集)や、当事者の声を反映した柔軟な制度設計が鍵となります。さらには、男性の理解と協力も必要不可欠です。



みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 字結び「百・日・紅」

神輿デビューの娘が初めての赤い紅さす夏祭り
続く猛暑で体がへばる失せる気力に日々ゴロ寝
寺の片隅お百度石の苔が生えてる心寂し
古いアルバム青春巡り頬に紅さす暑い夏

夢は百まで子供や孫に手本示して語り継ぐ
夏の日照りの暑さに堪えて夕に映え増す百日紅
夏の日差しをいつまで抱いて暮れてまだある草いきれ

村の花にと日夜の努力見事咲かせた百合の花
酷暑なんぞに負けぬと信じ土用うしの日鰻喰う
猛暑少雨に負けずに咲いた荒れた空き家の百日紅

日々の猛暑に打ち勝ながら蝉は跡継ぎ残す夏
梅雨が明けたよ待ってた夏だせみの初鳴き百日紅
空に向って花びら広げ負けず生きると百日紅

俚謡のともしび百年灯す日和仲間の心意気
見事イチロー殿堂入りで歓喜うずまく式典日
蚊帳を吊るして夜風に眠るそんな昭和が日々恋し

今日も暑いねお盆がづらい父母が待ってる八王子
八月の俳句(題 当季雑詠)

アフガンに倒れし医師の白衣かな

集落に訪ふ人なしほたる群れ
祭の日幼に着せし浴衣かな

原爆忌誓い新たに放つ鳩
盆支度位牌に語るあれやこれ

一週間のレシポノートに帰省待つ
鮎飯の土鍋に並ぶ三尾かな

撞舞の妙技を仰ぐ夏の宵
紫蘇香る焼きおにぎりの屋簷かな

マクワ瓜すそ分け受ける夕の畑
友ありて紫陽花ときどき雨あがる

五十音順

石戸 律華
伊藤 葉子
井戸 賀蘇道
上野 八千代
小蘭 江久美
門脇 悠美
篠原 美千代
関根 秀子
高橋 一步
田島 草実
塚本 夏雲
沼寄 朋香
長谷川 悦子
増尾 青蓮
山岡 亜子
山崎 笑子
山崎 泰弘
市川 紀行
海道 民子
高柳 幸子
田島 早苗
中島 輝子
長田 敏笑
増尾 尚子
松葉 統子
村崎 典子
山口 美代子
新宮 和子